

刊 九

大正十三年六月十日
朝鮮銀行

御撰擇あれ

御方は

御印見本中より

全物夏)

印見本は二條最低等製前
ての點に於て必ず各位の御謄
得らる



萬一

三	萬	萬	萬	萬	萬	金	券
成	圓	圓	圓	圓	圓	幣	九
步	當	當	當	當	當	通	十
引	六	五	四	三	二	知	四
明	百	百	百	百	百	錢	圓
治	八	六	四	卅	廿	抽	賣
陸	拾	拾	拾	參	壹	後	圓
引							
買							

手二
 取市西區南堀江上可
 送券請小包電話
 選金は振替清水商店
 明六二七二

販賣會場

大阪北區八舞阪南門前
關戸製作所
電話東一五七四
阪二四四五
本誌より題上
たる製品は何種
も取り扱ひます

新製製造機

直ぐ来て用土多
なる儲蓄盛
も金にあり
密貯する

詳説は明
入用三
券封中

ます。石山で中買

中休み無く出来るす

で國境及び川には降雨あり
京城は曇り小雨

Copyright © 2006 John Wiley & Sons, Ltd.

公債株式
東一證券株式會社

短期取引開始

○本日より短期取引が東京市場で開始されます、
其詳細は

新 東 株
新 鐘 紡 株

です

○本店は御座國の最も便宜な方法で御取扱致し
ますから御注文を願ひます

○短期取引に與る一切の期間は詳細な書面を御
送致す

○短期の説明書は案内其他資料贈呈

新築落成記念文藝

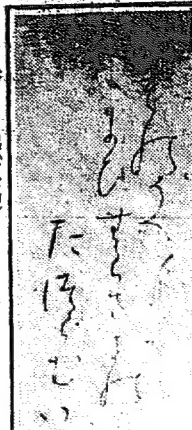
短歌尾上柴舟選

一 等 (賞 賞金五圓) 永貞
京橋の舟の二六分男栗田口秋水
堤き止めて水車へ送る水の満ちた月夜
なりけり (京元) (賞金五圓)

二 等 (賞 賞金三圓) 永貞
京橋の舟の二六分男栗田口秋水
堤き止めて水車へ送る水の満ちた月夜
なりけり (京元) (賞金三圓)

三 等 (賞 賞金一圓) 永貞
京橋の舟の二六分男栗田口秋水
堤き止めて水車へ送る水の満ちた月夜
なりけり (京元) (賞金一圓)

尾上柴舟氏筆



秀逸(五名)

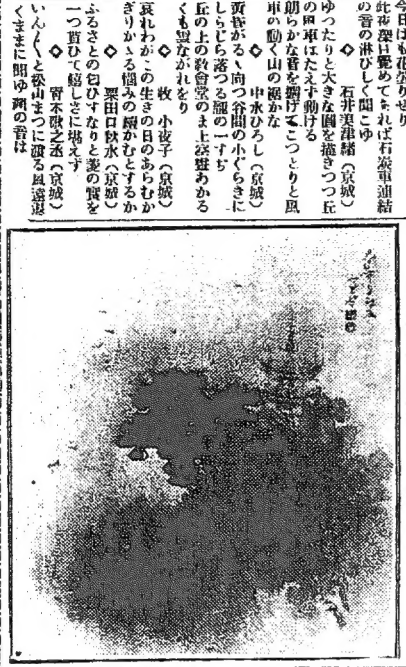
秀逸(五名)
内田 秀逸(五名)
内田 秀逸(五名)
内田 秀逸(五名)
内田 秀逸(五名)

選外佳作

選外佳作
内田 秀逸(五名)
内田 秀逸(五名)
内田 秀逸(五名)
内田 秀逸(五名)

愛と勝利を象徴する

愛と勝利を象徴する
鳥のロマンと鳥言葉
鳥のロマンと鳥言葉
鳥のロマンと鳥言葉



廣井高雲氏筆

廣井高雲氏筆
内田 秀逸(五名)
内田 秀逸(五名)
内田 秀逸(五名)
内田 秀逸(五名)

夏の着物

夏の着物
涼しい
涼しい
涼しい

水粧化たし明發らか水の瓜絲

ハコマチノ

日やけを防ぎ
お肌を美しくする
お化粧のベースになる

天辰歯科

忘れ得ぬ喜び

一 皮膚を美しく滑らかに、そして垢は勿論すつかり落してしまいます。

二 其の泡立ちの氣持ちよき、その香りの快よき、一度お使いになつた方の忘れ得ぬ喜びで御座います。

ホシ美化粧店

一番よくきく

ロヤゲ止ば

クラブ洗粉

美身クリーム

此のクラブ洗粉は、素顔の美を増し、白粉の附を良くする品質第一のアレ、日やけ止にして長くも

皇后宮職御用品

優良な技師に依て作られた優良な品

[illegible][illegible]

發行所
 販賣所
 電話 北區 四三〇〇
 京阪神 大阪 三本町 三
 大坂屋號一

京城日報社代理部
 嚴松堂

惡

筆

一馬力より
 十馬力あり
 開力能く自由

排水用
 灌漑用
 一馬力より
 十馬力あり
 開力能く自由

ヤンマーモーター
 ヤンマーモーター
 ヤンマーモーター

一馬力より
 十馬力あり
 開力能く自由

限日十月六
 豫申約込
 迫

自轉車の撰擇は

特に一般に知られものに限ります

高尙優美の紳士用は
有名なる

ラーチ

堅牢經濟の實用向は
姉妹車なる

ホドント

ホイヤは二十年來
久安全を誇稱せる

鬼

何れも愛賢元株式日本商店が
組賣の責任を付し全國各都府の
信用ある自轉車店のみに於て
特約販賣するものであります

南滿洲四平街

特産商 五 小林五一商店

電話長三八八
電話(三)又(三五)

最有利の副業は小説貸本を調製する
此の副業は、小説の流行と共に、
少額の資本で、大儲けが出来る。
此の副業は、小説の流行と共に、
少額の資本で、大儲けが出来る。
此の副業は、小説の流行と共に、
少額の資本で、大儲けが出来る。

不磨の家寶全集

全廿卷 壹萬七千餘頁

河竹家藏版
春陽堂刊行

(東京日本橋通四ノ五
振替東京一六二七)

阿彌全集

内容見本進呈 葉書にて申込み次第
直ちに送呈する

體裁 四六列天金麻布木版刷表装、総振假名付。
每巻之附録納金優待、彩色木版刷を
附す。各巻八百五十頁以上、特製美本。

豫約規定 非賣品豫約者のみに分つ。申込金
四圓五十錢宛、最終金に充當。毎月
月拂金四圓五十錢宛、時拂金八十五圓
(別に送附を要す) 大正十三年七月より
毎月一冊宛、廿ヶ月完了。

豫約 東京日本橋通
四丁目五番地 春陽堂
(振替東京一六一七)

豫約 東京日本橋通
四丁目五番地 春陽堂
(振替東京一六一七)

切

最初の最後の出版

なるを以て、此の好機を逸することなく永
遠に吾等が子孫へ傳ふべきものなり。

は行かないから部局難米

